

岐阜県における

土地価格と不動産取引の動向 に関するアンケート調査結果

～岐阜県不動産市況DI調査～

(令和6年10月1日基準点)

令和7年1月

公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会

公益社団法人 岐阜県不動産鑑定士協会

後援 岐阜県

目 次

調査結果について	1
1. 調査実施の概要	3
2. 回答者の属性	3
(1) 主な事業地域	3
(2) 主な事業内容	3
3. 回答内容	4
(1) 地価動向の集計	4
① 岐阜県全域の集計	4
② 地域毎の集計	5
(2) 不動産取引(取引件数)の動向	8
① 岐阜県全域の集計	8
② 地域毎の集計	11
(3) 不動産取引(賃料・空室率)の動向	14
① 岐阜県全域の集計	14
② 地域毎の集計	17
各地域ごとのコメント	19
全県実感DI推移表	20

岐阜県における

土地価格と不動産取引の動向 に関するアンケート調査結果

令和6年10月1日を起点とし、過去6ヶ月(R6.4.1～R6.10.1)と、今後6ヶ月(R6.10.1～R7.4.1)の、岐阜県の土地価格と不動産取引の動向について、公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員へアンケート調査を行った結果についてお知らせします。

I. 土地価格の動向について

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
1.1ポイント	1.7ポイント	0.6ポイント	△0.7ポイント

今回の県全体の地価動向DIは、0.6ポイントで、前回(令和6年4月1日)の1.7ポイントより悪化した。また、前回の予測値3.5ポイントからみると土地価格は予想以上に伸び悩んだことが見てとれる。土地については、二極化が進み、駅徒歩圏等の利便性の高い地域では路線価を大きく上回る価格での取引がみられるが、郊外の既成住宅団地や過疎地では価格がつかない状態にあり、隣地の買い増しがみられる程度で、市場自体が成立しなくなっている。さらに、インフレ、円安、労働力不足等による建築費の上昇が土地価格の重しとなっており、この傾向は今後も続くと考えられる。
なお、半年後の予測値は△0.7ポイントで、マイナス予測となっている。

II. 不動産市場の動向(県全体)について

1. 取引件数について

(1) 土地

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△9.7ポイント	△10.9ポイント	△11.8ポイント	△11.2ポイント

土地取引件数は、前回△10.9ポイントよりやや悪化し、△11.8ポイントとなった。また、前回の予測値△9.0ポイントからも大きく下振れたが、半年後の予測値は△11.2ポイントとやや改善が予測されている。
土地は、相続による処分希望者が増えている。

(2) 新築戸建

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△23.1ポイント	△23.6ポイント	△29.9ポイント	△27.3ポイント

新築戸建取引件数は、前回△23.6ポイントから大きく下振れ、△29.9ポイントとなった。前回予測値が△22.1ポイントとやや改善すると見込まれていただけに、予想以上に新築住宅の売れ行きが落ち込んでいることが伺える。
全国的に見ても需要者の減少、建物価格の高騰等が新築住宅市場の縮小要因となっ

(3) 中古住宅

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△7.1ポイント	△3.9ポイント	△2.9ポイント	1.6ポイント

中古住宅取引件数は、前々回△7.1ポイント、前回△3.9ポイント、今回△2.9ポイントと改善傾向が続いており、次回予測値は1.6ポイントとプラス転換が予測されている。これは、新築戸建市場ではマイナス要因となっていた建築費の上昇が、割安な中古住宅市場に需要者を引き寄せたことも考えられる。

(4) 新築マンション

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△14.6ポイント	△24.7ポイント	△21.1ポイント	△29.3ポイント

新築マンション取引件数は、△21.1ポイントで、前回△24.7ポイントまた、前回予測値△30.1ポイントより改善した。
新築マンション供給は時期によってバラツキがあり一概に言えないが、今回は需給がやや落ち着いた結果となった。

(5) 中古マンション

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△17.5ポイント	△11.0ポイント	△13.8ポイント	△17.7ポイント

中古マンション取引件数は、△13.8ポイントで、前回△11.0ポイントよりやや悪化した。また、半年後の予測値は△17.7ポイントでさらなる悪化が予測されている。
中古マンション市場も立地による差別化がみられ、駅近物件の引き合いは多くみられるが、郊外型は不人気である。

2. 賃料、空室率について

(1) 賃料水準について

居住用物件の賃料

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△2.7ポイント	0.0ポイント	0.0ポイント	△1.5ポイント

事業用物件の賃料

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△6.8ポイント	△1.8ポイント	1.4ポイント	△1.7ポイント

居住用物件の賃料水準は、前回調査と変わらず±0.0ポイントとなった。。また、事業用物件は前回△1.8ポイントから今回1.4ポイントとプラス転換した。
居住用物件では、戸建貸家の需要が高く、昨今の物価上昇から人気物件なら賃料を上げやすい。反面、築古物件の賃料アップは厳しいであろう。事業用物件では、インバウンド関連物件や物流施設等の交通利便性が高い物件は賃料を上げやすい状況下にある。

(2) 空室率について

居住用物件の空室率

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△7.4ポイント	△1.5ポイント	△5.4ポイント	△3.0ポイント

事業用物件の空室率

R5. 10. 1	R6. 4. 1	R6. 10. 1	R7. 4. 1(予測)
△6.2ポイント	0.3ポイント	2.6ポイント	0.6ポイント

空室率については、居住用物件が△5.4ポイントと悪化した。事業用物件が2.6ポイントと大きく改善した。居住用物件は、地域により空室率に大きな差異がみられる。事業用物件は、保証金、礼金といった一時金の過多も空室率を分ける要因となっている。

【DI指数について】

DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている指標です。

DIの算出方法は、各判断項目について5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して、次式により算出します。

$$DI = \{ (第1選択肢の回答数 \times 2 + 第2選択肢の回答数) - (第4選択肢の回答数 + 第5選択肢の回答数 \times 2) \} \div 2 \div 回答者数 \times 100$$

本調査では、上昇(増加)から下落(減少)までの判断を5段階で調査し、DIが0.0以上なら改善したとみる会員が多く、逆に0.0以下なら厳しい見方が多いことになる。

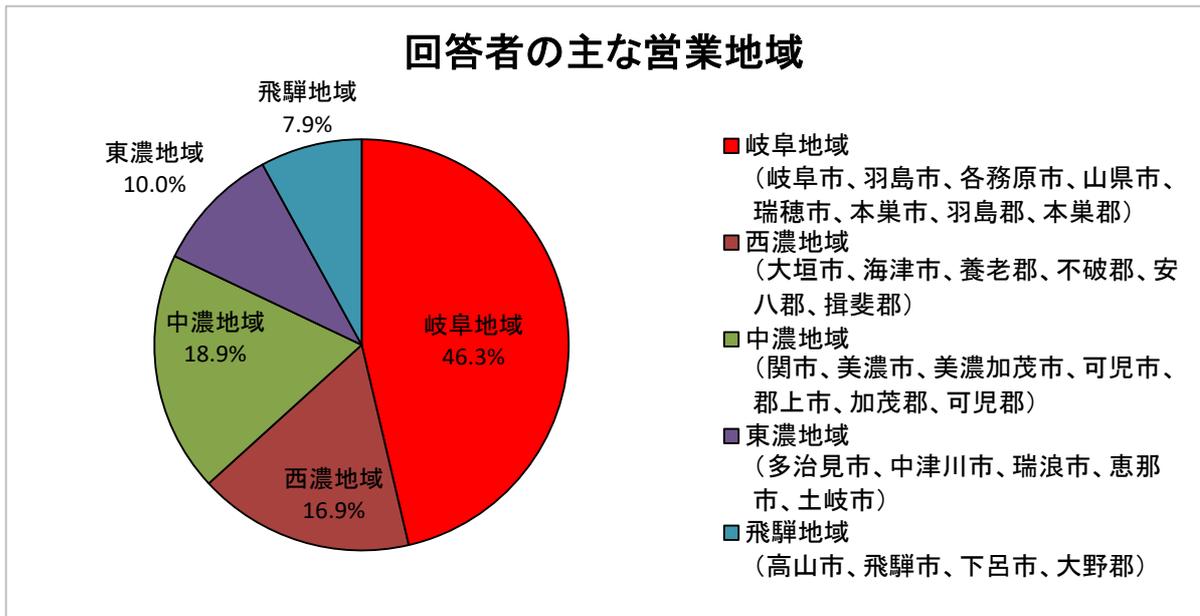
1. 調査実施の概要

- (1) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (2) 調査対象：公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員
- (3) 発送数： 1,124 社
- (4) 回答数： 492 社(回収率 43.8%)

2. 回答者の属性

(1) 主な事業地域

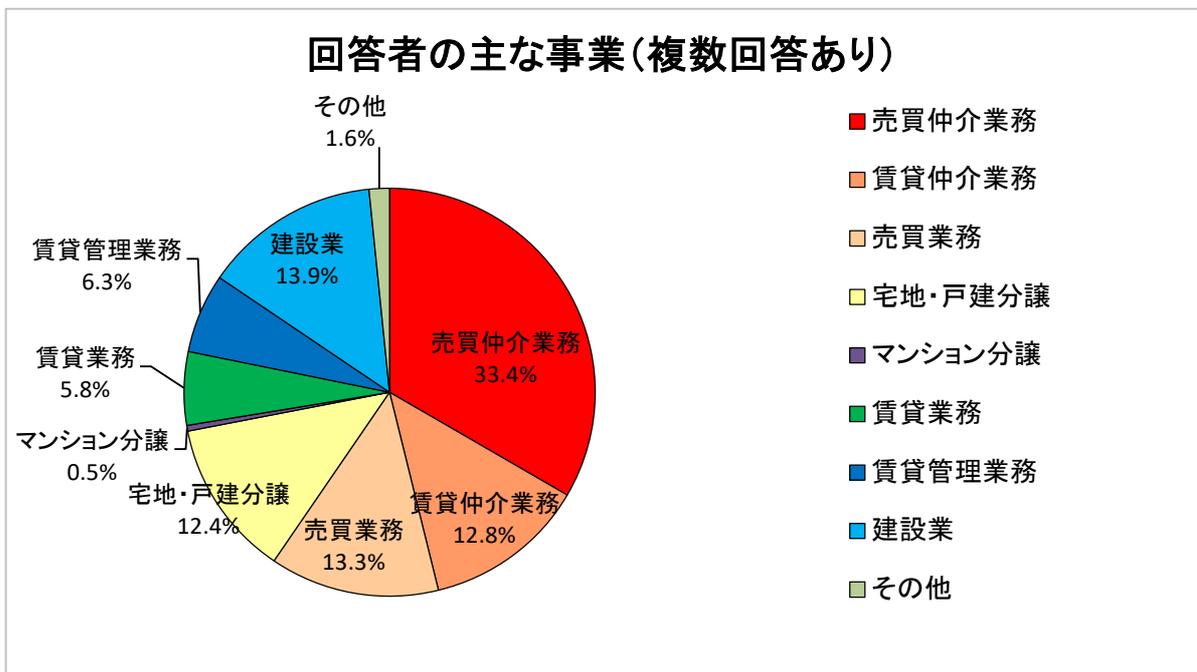
岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域	合計
228	83	93	49	39	492



(2) 主な事業内容

(複数回答あり)

売買仲介業務	賃貸仲介業務	売買業務	宅地・戸建分譲	マンション分譲	賃貸業務	賃貸管理業務	建設業	その他	合計
293	112	117	109	4	51	55	122	14	877



3. 回答内容

(1)地価動向の集計

①岐阜県全域の集計

問2. 令和6年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和6年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

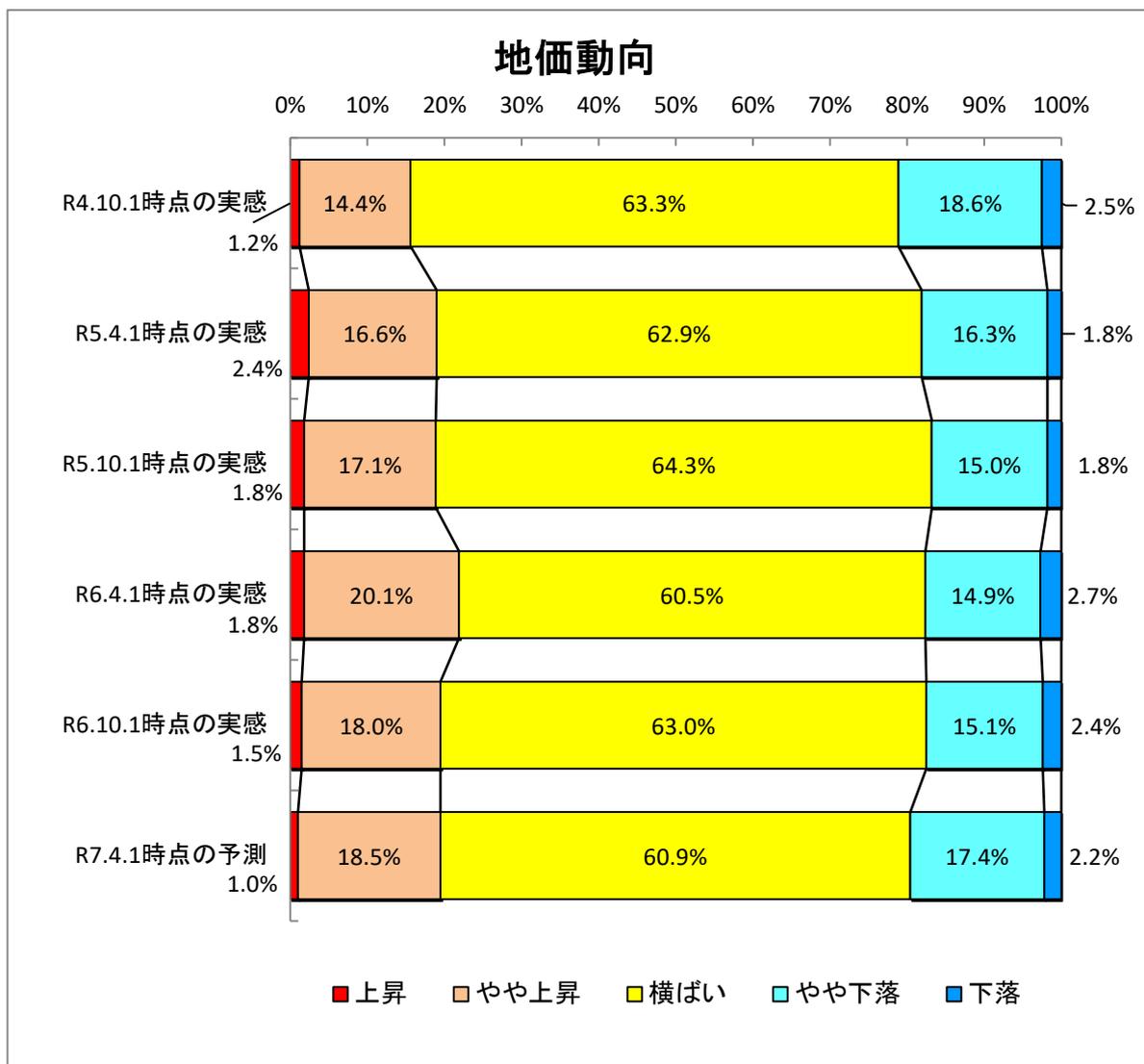
令和6年10月1日と令和6年4月1日の地価動向の比較

上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
14	167	587	140	22	930	0.6
1.5%	18.0%	63.0%	15.1%	2.4%	100.0%	

問3. 半年後(令和7年4月1日)の地価の動向は、現在(令和6年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

令和6年10月1日と令和7年4月1日の地価動向の比較

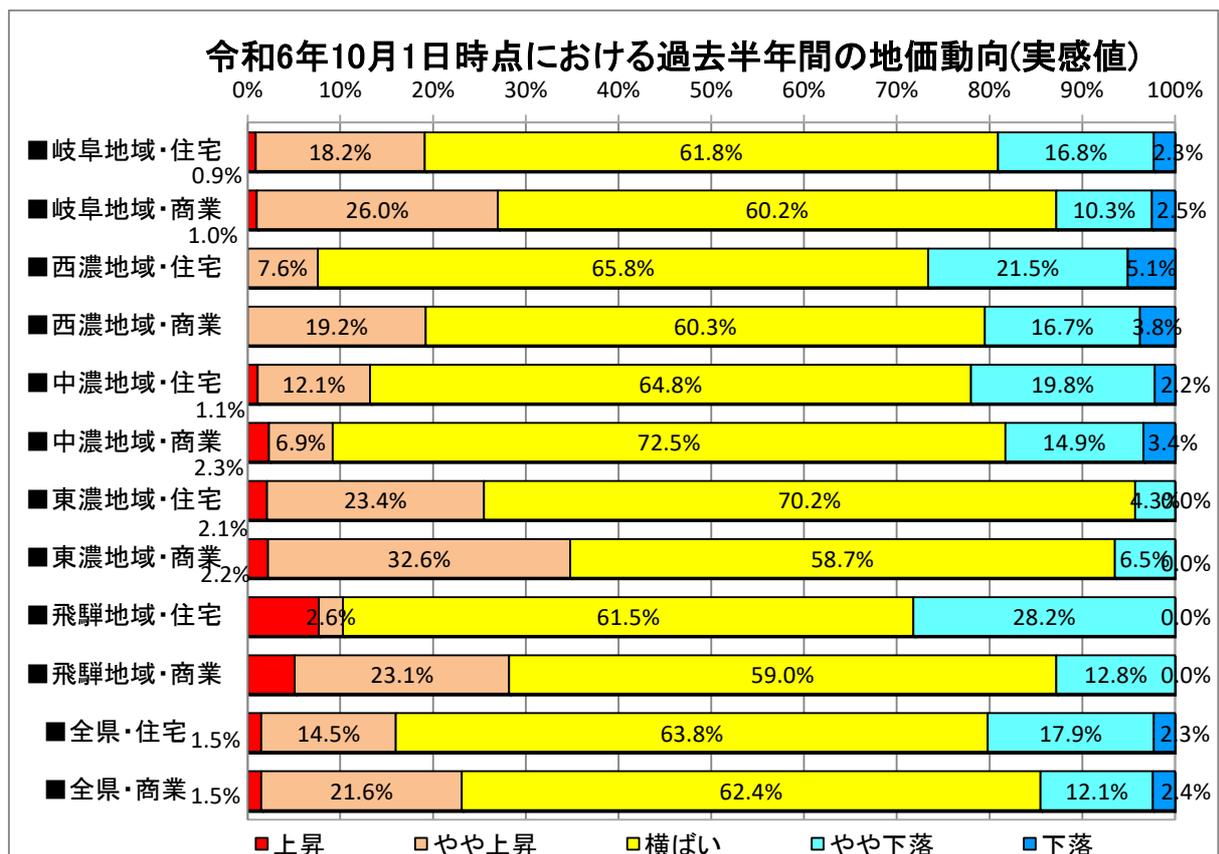
上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
9	174	572	164	21	940	-0.7
1.0%	18.5%	60.9%	17.4%	2.2%	100.0%	



②地域毎の集計

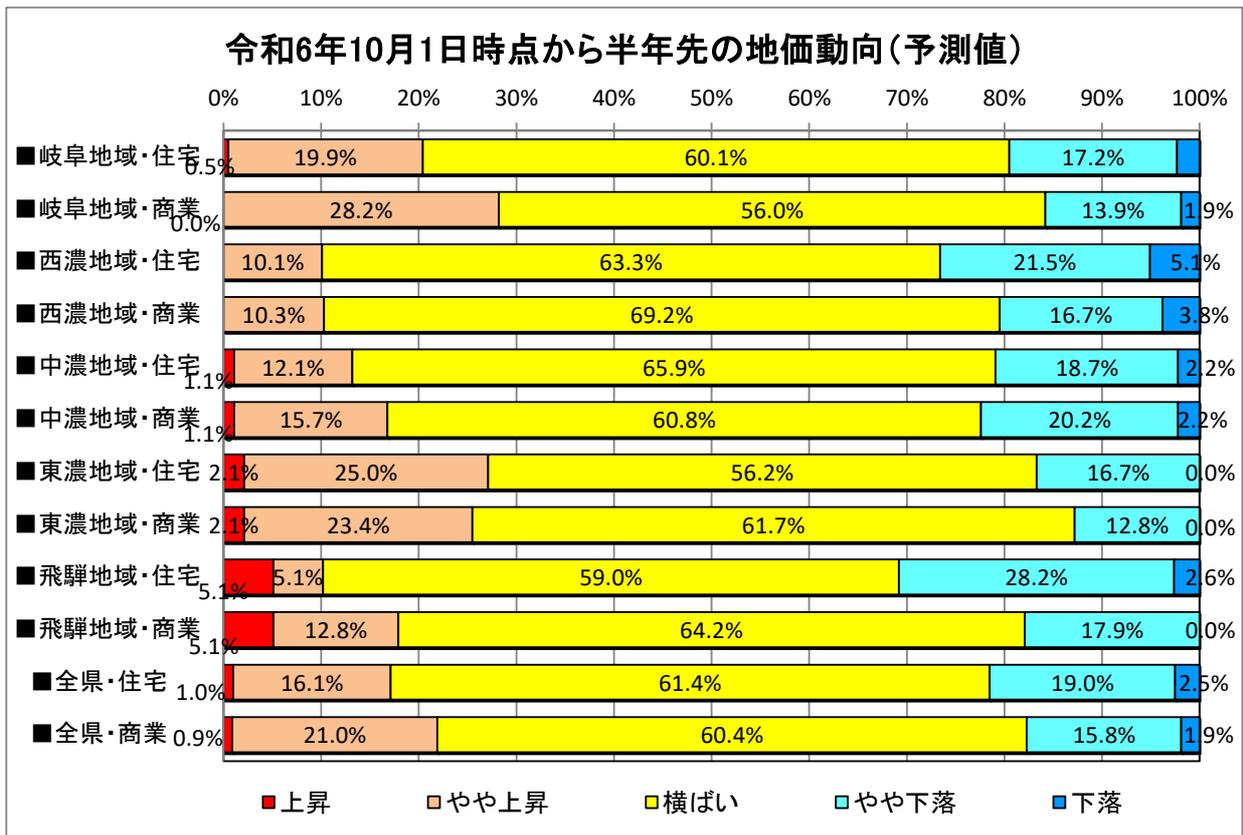
問2. 令和6年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和6年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

地価動向・地域毎(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の地価動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	2	40	136	37	5	220
DI指数	-0.7P	0.9%	18.2%	61.8%	16.8%	2.3%	100%
岐阜地域・商業地	回答数	2	53	123	21	5	204
DI指数	6.4P	1.0%	26.0%	60.2%	10.3%	2.5%	100%
西濃地域・住宅地	回答数	0	6	52	17	4	79
DI指数	-7.3P	0.0%	7.6%	65.8%	21.5%	5.1%	100%
西濃地域・商業地	回答数	0	15	47	13	3	78
DI指数	-12.0P	0.0%	19.2%	60.3%	16.7%	3.8%	100%
中濃地域・住宅地	回答数	1	11	59	18	2	91
DI指数	-4.9P	1.1%	12.1%	64.8%	19.8%	2.2%	100%
中濃地域・商業地	回答数	2	6	63	13	3	87
DI指数	-5.2P	2.3%	6.9%	72.5%	14.9%	3.4%	100%
東濃地域・住宅地	回答数	1	11	33	2	0	47
DI指数	11.7P	2.1%	23.4%	70.2%	4.3%	0.0%	100%
東濃地域・商業地	回答数	1	15	27	3	0	46
DI指数	15.2P	2.2%	32.6%	58.7%	6.5%	0.0%	100%
飛騨地域・住宅地	回答数	3	1	24	11	0	39
DI指数	-5.1P	7.7%	2.6%	61.5%	28.2%	0.0%	100%
飛騨地域・商業地	回答数	2	9	23	5	0	39
DI指数	10.3P	5.1%	23.1%	59.0%	12.8%	0.0%	100%
全県・住宅地	回答数	7	69	304	85	11	476
DI指数	-2.5P	1.5%	14.5%	63.8%	17.9%	2.3%	100%
全県・商業地	回答数	7	98	283	55	11	454
DI指数	3.9P	1.5%	21.6%	62.4%	12.1%	2.4%	100%

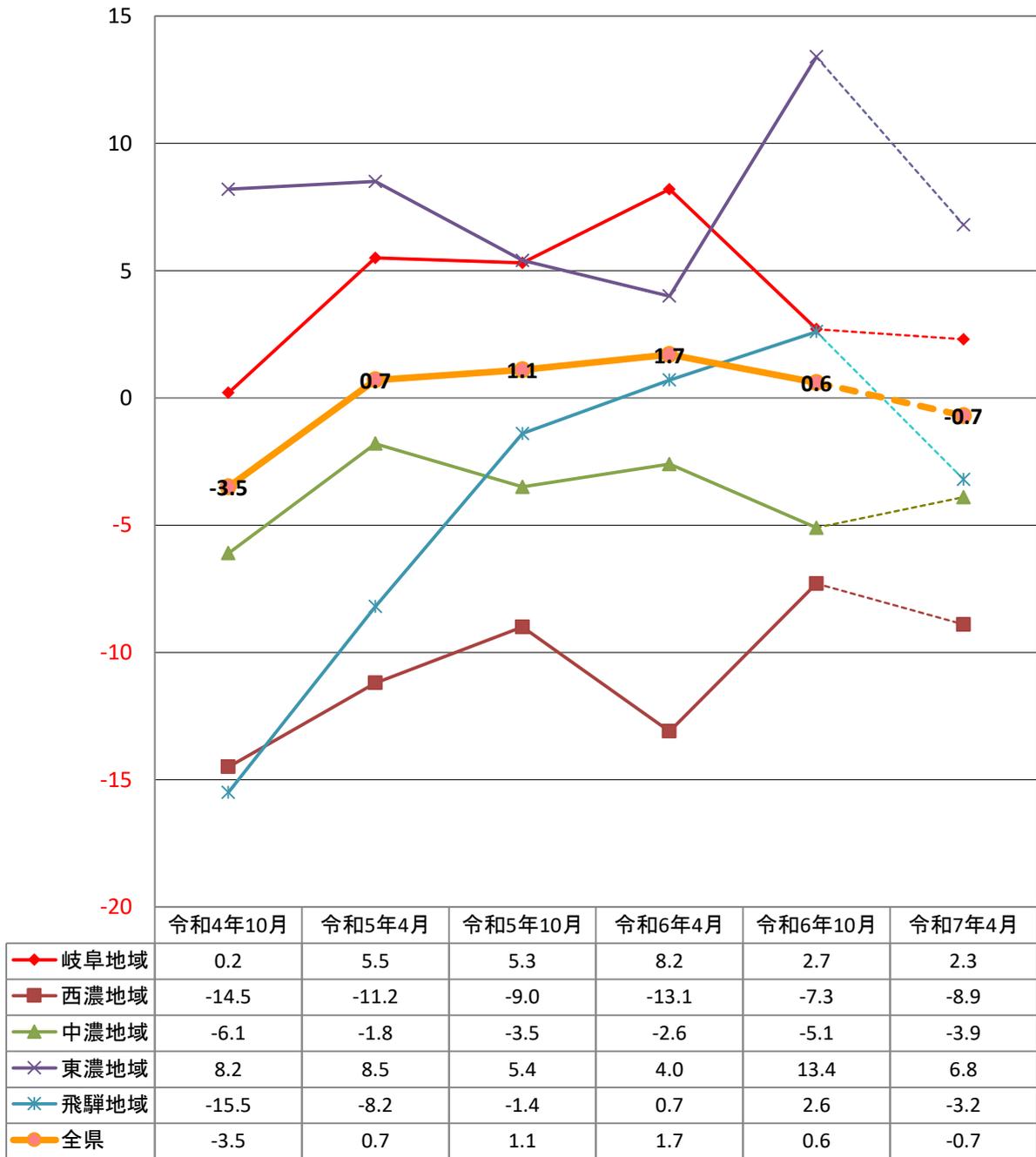


問3. 半年後(令和7年4月1日)の地価の動向は、現在(令和6年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

地価動向・地域毎(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の地価動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	1	44	133	38	5	221
	DI指数	2.3P	0.5%	19.9%	60.1%	17.2%	2.3%
岐阜地域・商業地	回答数	0	59	117	29	4	209
	DI指数	-0.5P	0.0%	28.2%	56.0%	13.9%	1.9%
西濃地域・住宅地	回答数	0	8	50	17	4	79
	DI指数	-8.9P	0.0%	10.1%	63.3%	21.5%	5.1%
西濃地域・商業地	回答数	0	8	54	13	3	78
	DI指数	-10.8P	0.0%	10.3%	69.2%	16.7%	3.8%
中濃地域・住宅地	回答数	1	11	60	17	2	91
	DI指数	-3.9P	1.1%	12.1%	65.9%	18.7%	2.2%
中濃地域・商業地	回答数	1	14	54	18	2	89
	DI指数	-4.4P	1.1%	15.7%	60.8%	20.2%	2.2%
東濃地域・住宅地	回答数	1	12	27	8	0	48
	DI指数	6.8P	2.1%	25.0%	56.2%	16.7%	0.0%
東濃地域・商業地	回答数	1	11	29	6	0	47
	DI指数	6.3P	2.1%	23.4%	61.7%	12.8%	0.0%
飛騨地域・住宅地	回答数	2	2	23	11	1	39
	DI指数	-3.2P	5.1%	5.1%	59.0%	28.2%	2.6%
飛騨地域・商業地	回答数	2	5	25	7	0	39
	DI指数	-9.0P	5.1%	12.8%	64.2%	17.9%	0.0%
全県・住宅地	回答数	5	77	293	91	12	478
	DI指数	-0.7P	1.0%	16.1%	61.4%	19.0%	2.5%
全県・商業地	回答数	4	97	279	73	9	462
	DI指数	-2.9P	0.9%	21.0%	60.4%	15.8%	1.9%



地価動向DI



※令和7年4月は令和6年10月時点における予測値を示す(以下、同様)。

(2) 不動産取引(取引件数)の動向

①岐阜県全域の集計

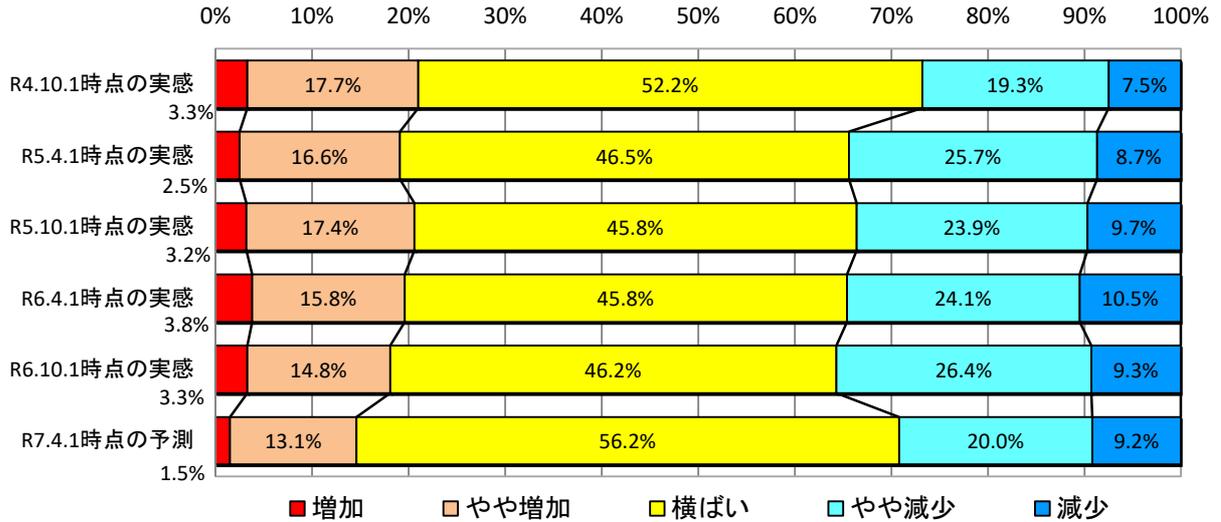
問4. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、令和6年10月1日現在の半年間の取引件数は、半年前(令和6年4月1日)と比較してどうですか？

取引動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の取引動向(実感値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	14	62	194	111	39		420
DI指数	-11.8P	3.3%	14.8%	46.2%	26.4%	9.3%		100%
新築戸建住宅	回答数	6	12	87	76	40		221
DI指数	-29.9P	2.7%	5.4%	39.4%	34.4%	18.1%		100%
中古戸建住宅	回答数	12	64	125	52	26		279
DI指数	-2.9P	4.3%	22.9%	44.9%	18.6%	9.3%		100%
新築マンション	回答数	1	6	58	23	14		102
DI指数	-21.1P	1.0%	5.9%	56.9%	22.5%	13.7%		100%
中古マンション	回答数	0	21	65	19	18		123
DI指数	-13.8P	0.0%	17.1%	52.9%	15.4%	14.6%		100%

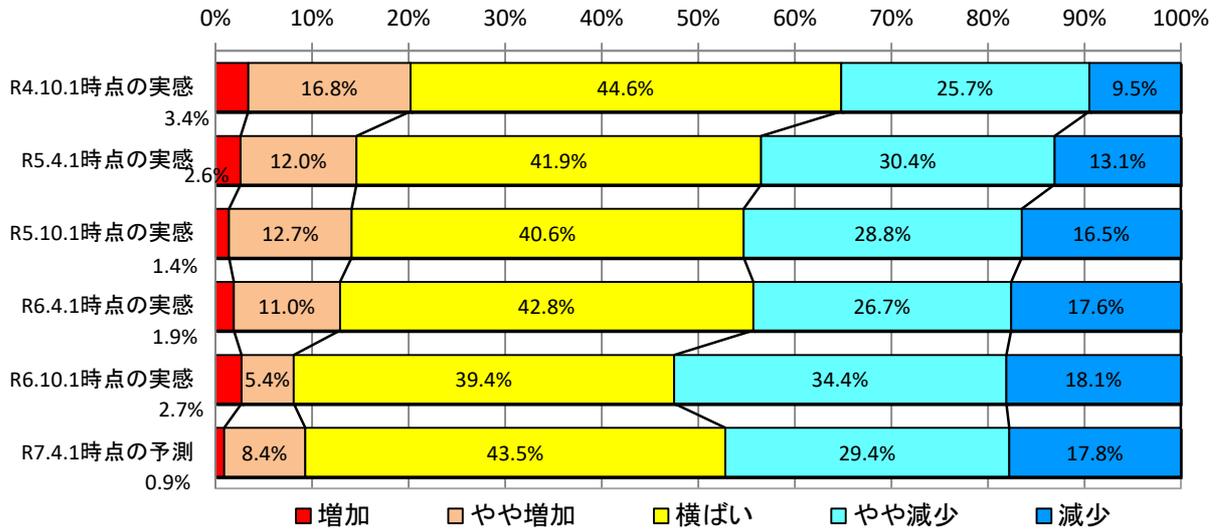
問5. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、半年後(令和7年4月1日)の取引件数は、現在(令和6年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

取引動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の取引動向(予測値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	6	54	231	82	38		411
DI指数	-11.2P	1.5%	13.1%	56.2%	20.0%	9.2%		100%
新築戸建住宅	回答数	2	18	93	63	38		214
DI指数	-27.3P	0.9%	8.4%	43.5%	29.4%	17.8%		100%
中古戸建住宅	回答数	11	70	135	43	20		279
DI指数	1.6P	3.9%	25.1%	48.4%	15.4%	7.2%		100%
新築マンション	回答数	0	4	55	18	22		99
DI指数	-29.3P	0.0%	4.0%	55.6%	18.2%	22.2%		100%
中古マンション	回答数	0	15	67	25	17		124
DI指数	-17.7P	0.0%	12.1%	54.0%	20.2%	13.7%		100%

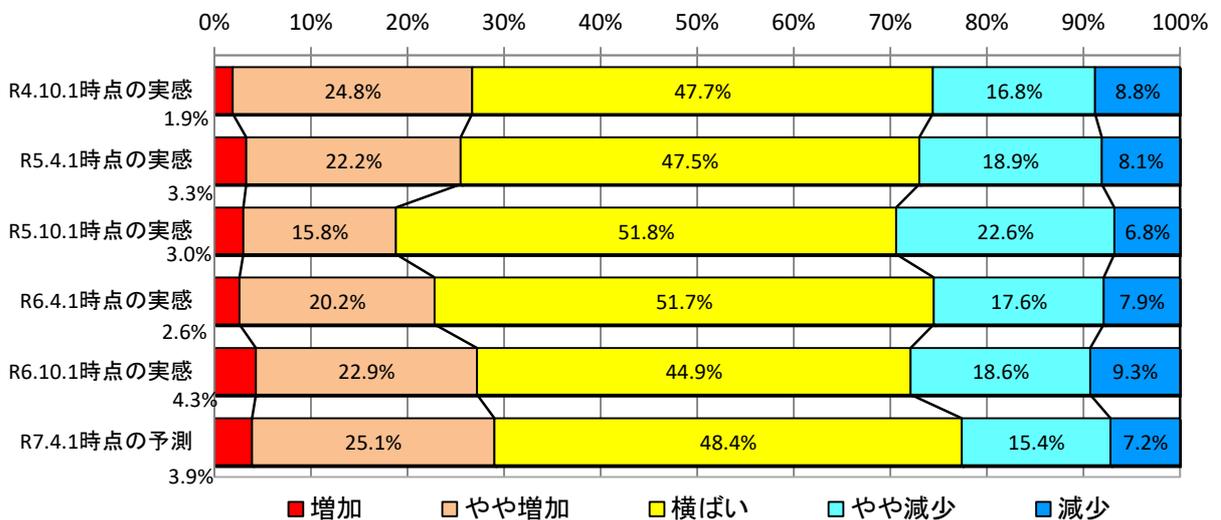
土地



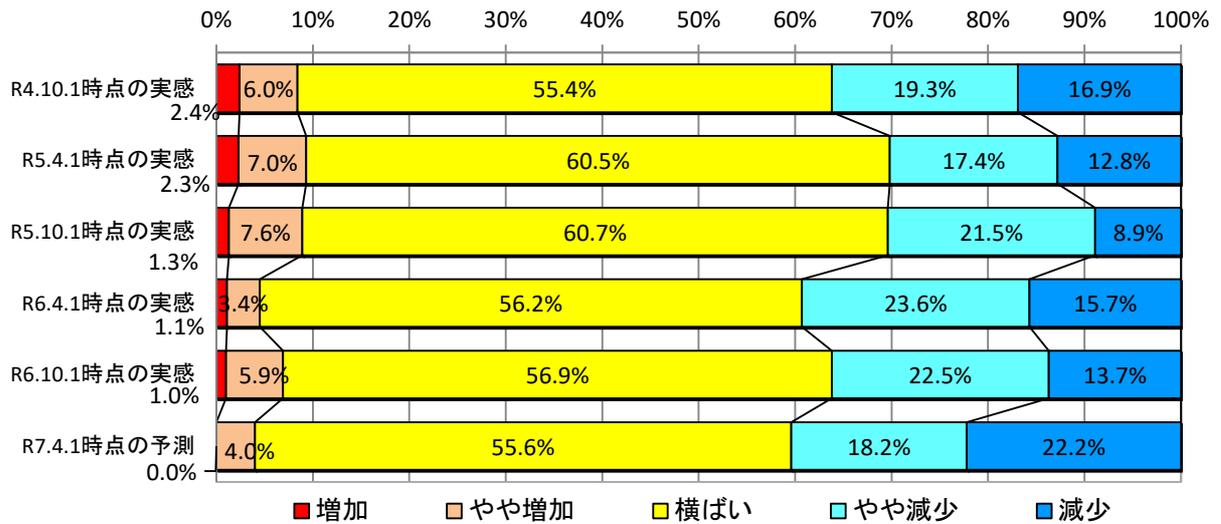
新築戸建住宅



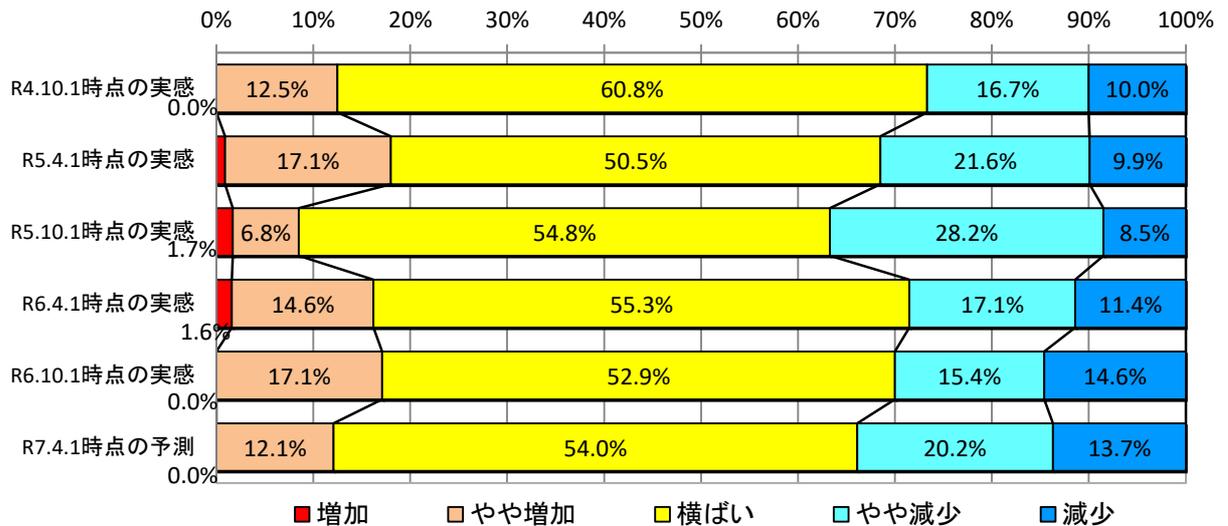
中古戸建住宅



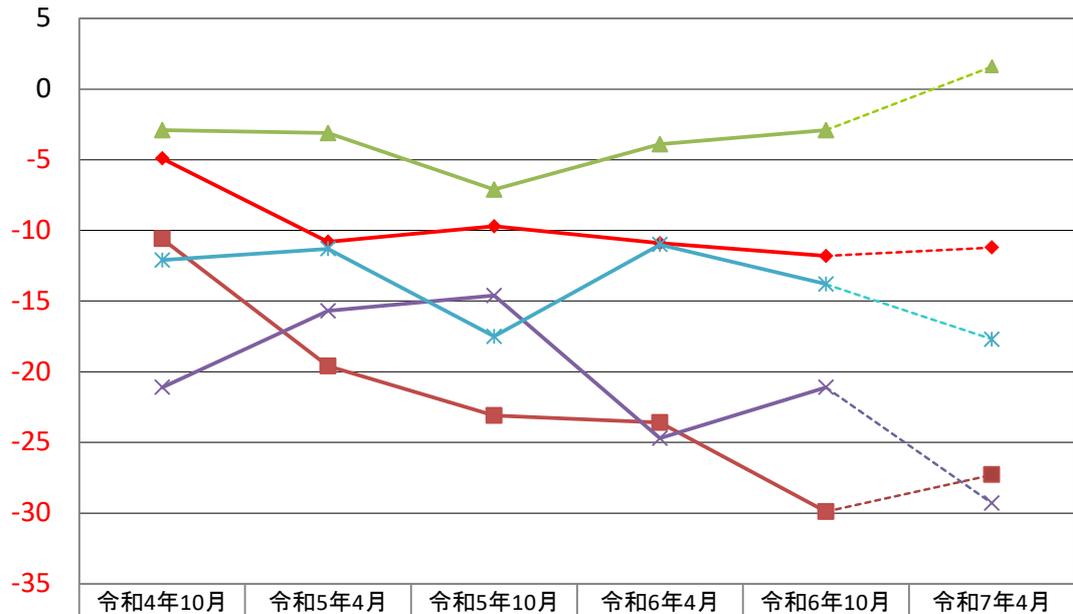
新築マンション



中古マンション



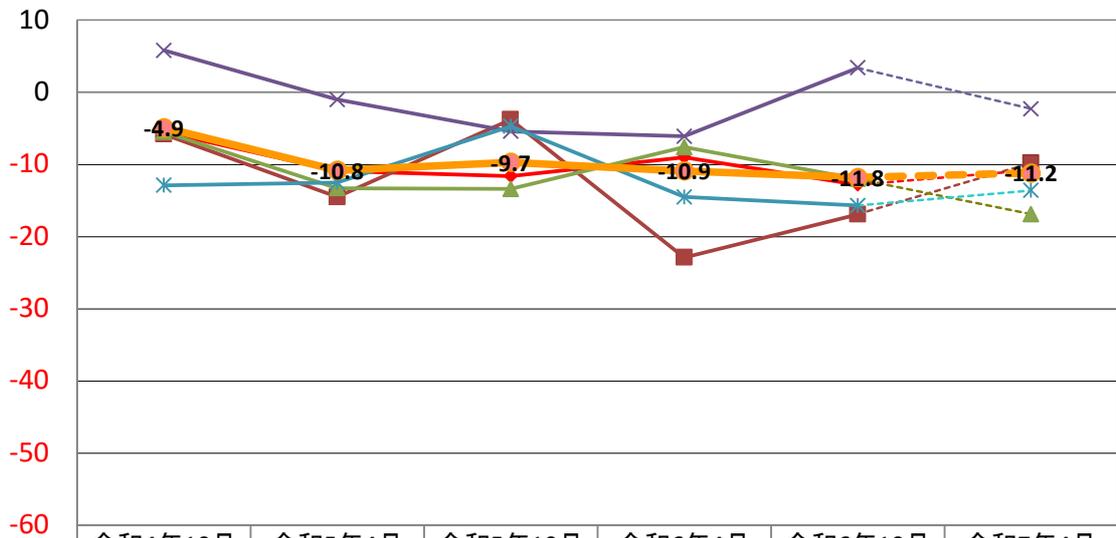
岐阜県不動産DI



	令和4年10月	令和5年4月	令和5年10月	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月
土地	-4.9	-10.8	-9.7	-10.9	-11.8	-11.2
新築戸建住宅	-10.6	-19.6	-23.1	-23.6	-29.9	-27.3
中古戸建住宅	-2.9	-3.1	-7.1	-3.9	-2.9	1.6
新築マンション	-21.1	-15.7	-14.6	-24.7	-21.1	-29.3
中古マンション	-12.1	-11.3	-17.5	-11.0	-13.8	-17.7

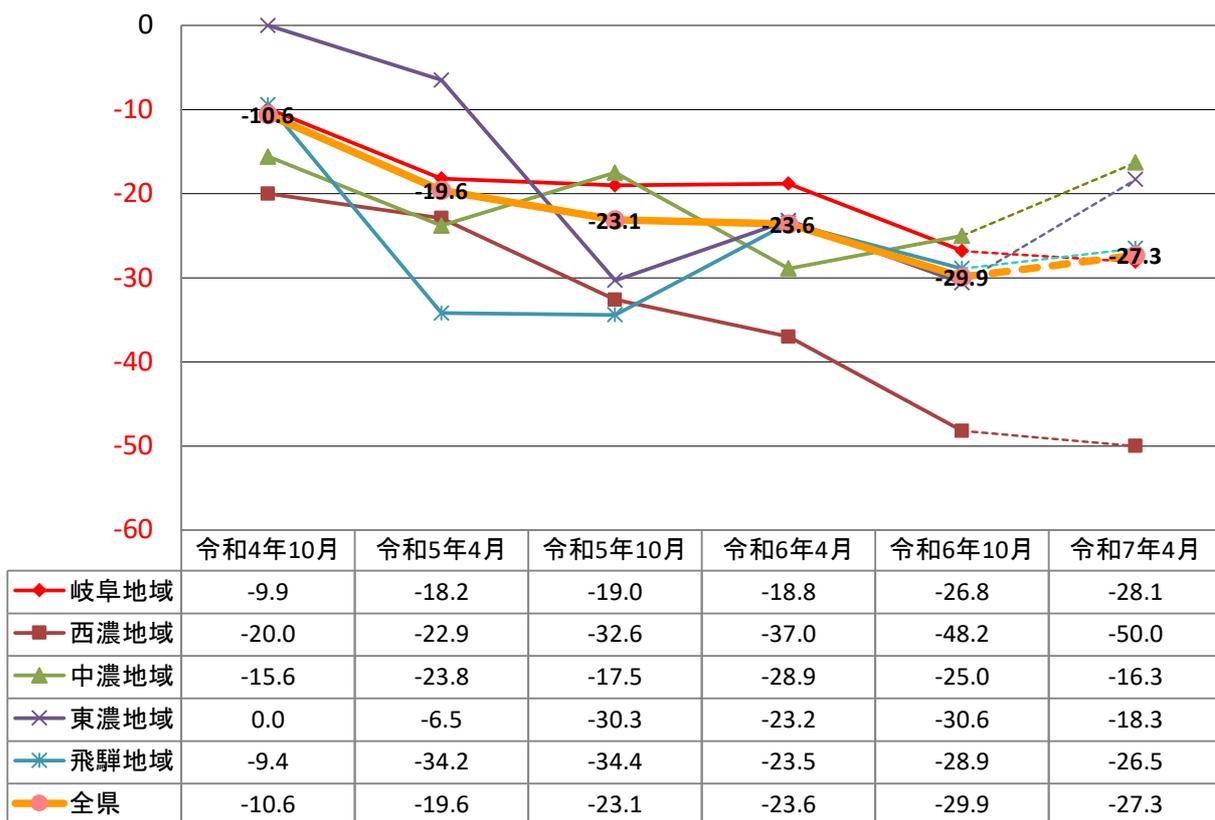
②地域毎の集計

土地DI

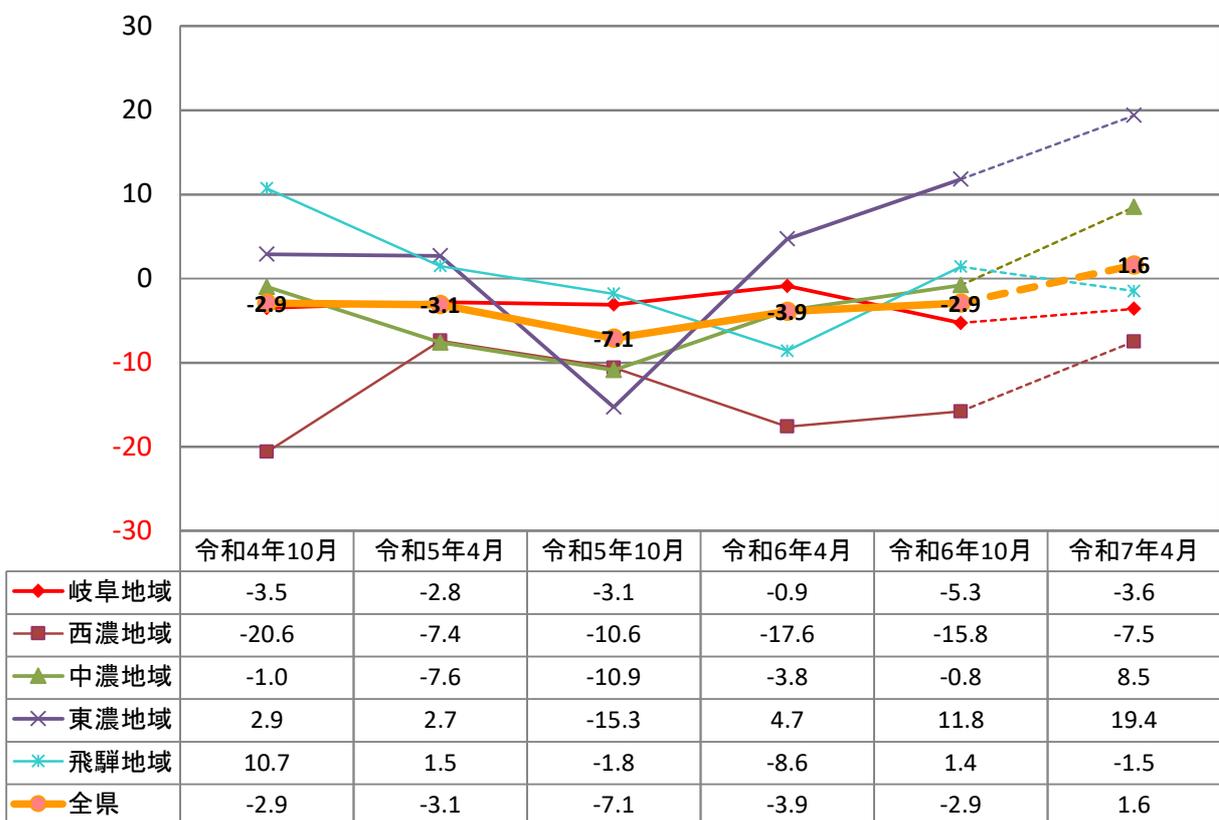


	令和4年10月	令和5年4月	令和5年10月	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月
岐阜地域	-5.5	-10.9	-11.6	-9.0	-12.8	-10.8
西濃地域	-5.8	-14.5	-3.8	-22.9	-16.9	-9.8
中濃地域	-5.5	-13.3	-13.4	-7.6	-12.0	-16.9
東濃地域	5.8	-1.0	-5.4	-6.1	3.4	-2.3
飛騨地域	-12.9	-12.5	-4.7	-14.5	-15.7	-13.6
全県	-4.9	-10.8	-9.7	-10.9	-11.8	-11.2

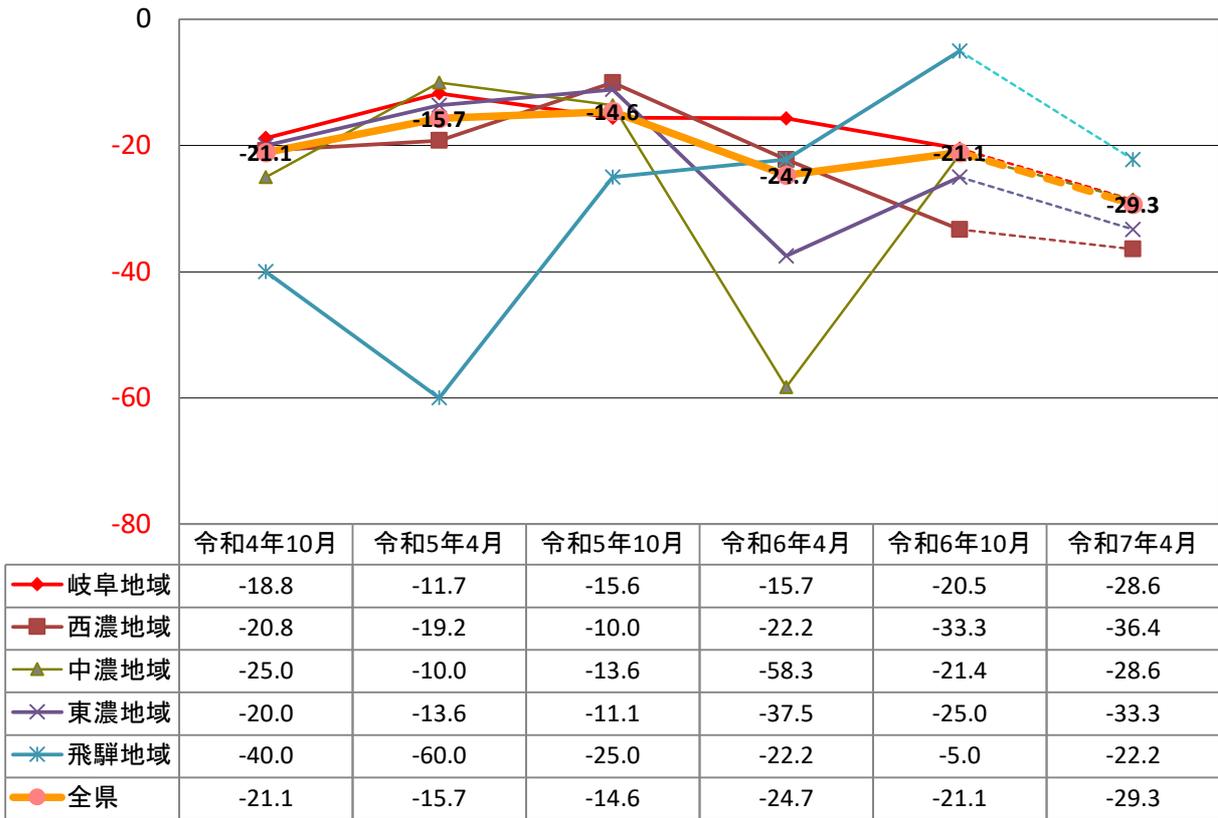
新築戸建住宅DI



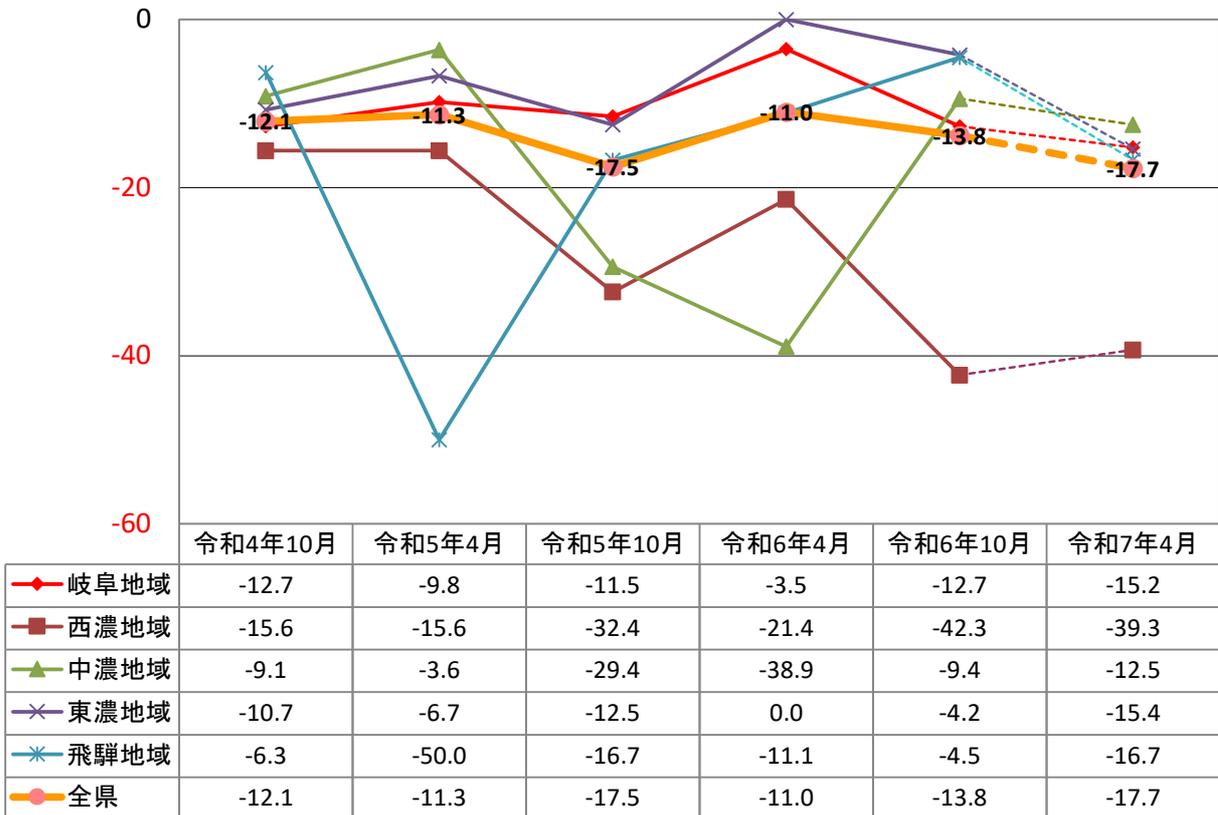
中古戸建住宅DI



新築マンションDI



中古マンションDI



(3)不動産取引(賃料・空室率)の動向

①岐阜県全域の集計

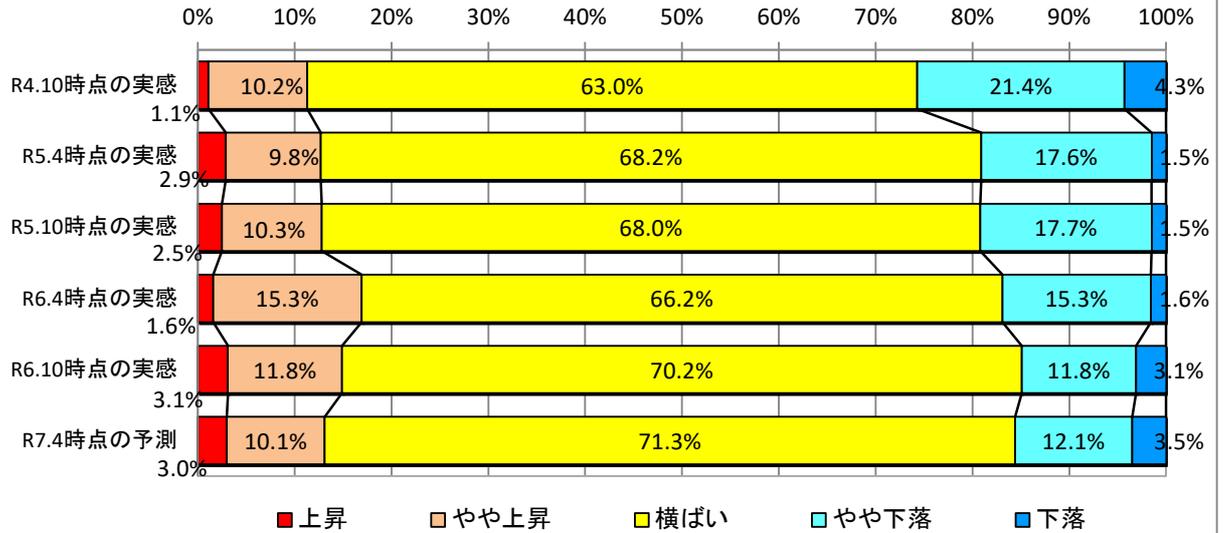
問6. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、令和6年10月1日現在の賃料・空室率は、半年前(令和6年4月1日)と比較してどうですか？

賃料動向・全域(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の賃料動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
居住用物件の賃料	回答数	6	23	137	23	6	195
DI指数	0.0P	3.1%	11.8%	70.2%	11.8%	3.1%	100%
事業用物件の賃料	回答数	2	29	130	20	4	185
DI指数	1.4P	1.1%	15.7%	70.2%	10.8%	2.2%	100%
空室率動向・全域(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の空室率動向(実感値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある	合計
居住用物件の空室率	回答数	5	23	109	41	6	184
DI指数	-5.4P	2.7%	12.5%	59.2%	22.3%	3.3%	100%
事業用物件の空室率	回答数	7	29	110	22	6	174
DI指数	2.6P	4.0%	16.7%	63.3%	12.6%	3.4%	100%

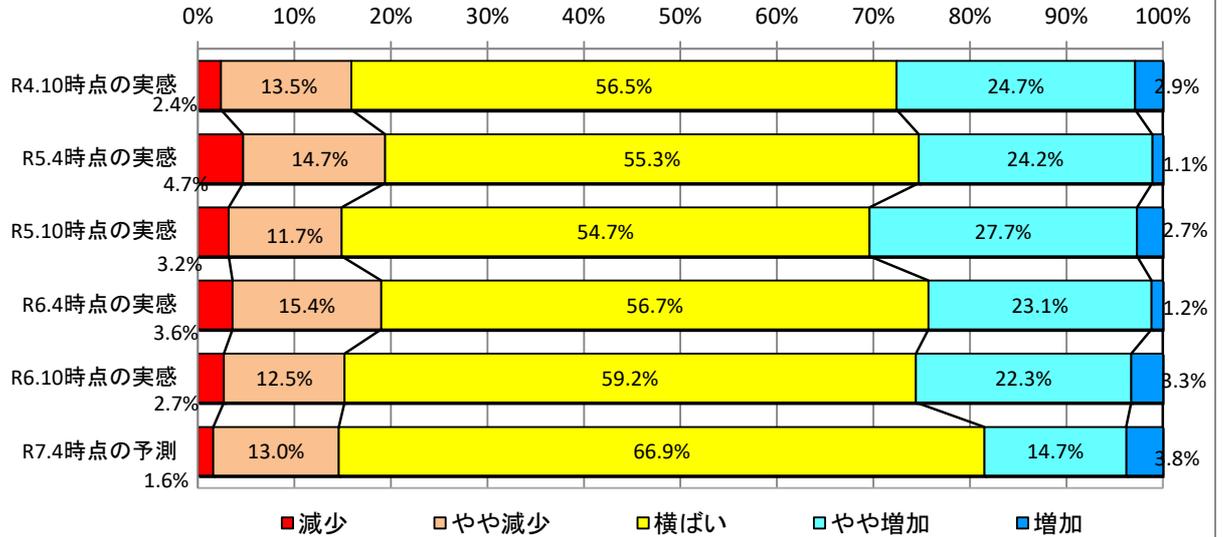
問7. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、半年後(令和7年4月1日)の賃料・空室率は、現在(令和6年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

賃料動向・全域(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の賃料動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
居住用物件の賃料	回答数	6	20	141	24	7	198
DI指数	-1.5P	3.0%	10.1%	71.3%	12.1%	3.5%	100%
事業用物件の賃料	回答数	4	19	131	21	6	181
DI指数	-1.7P	2.2%	10.5%	72.4%	11.6%	3.3%	100%
空室率動向・全域(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の空室率動向(予測値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある	合計
居住用物件の空室率	回答数	3	24	123	27	7	184
DI指数	-3.0P	1.6%	13.0%	66.9%	14.7%	3.8%	100%
事業用物件の空室率	回答数	7	19	120	21	5	172
DI指数	0.6P	4.1%	11.0%	69.8%	12.2%	2.9%	100%

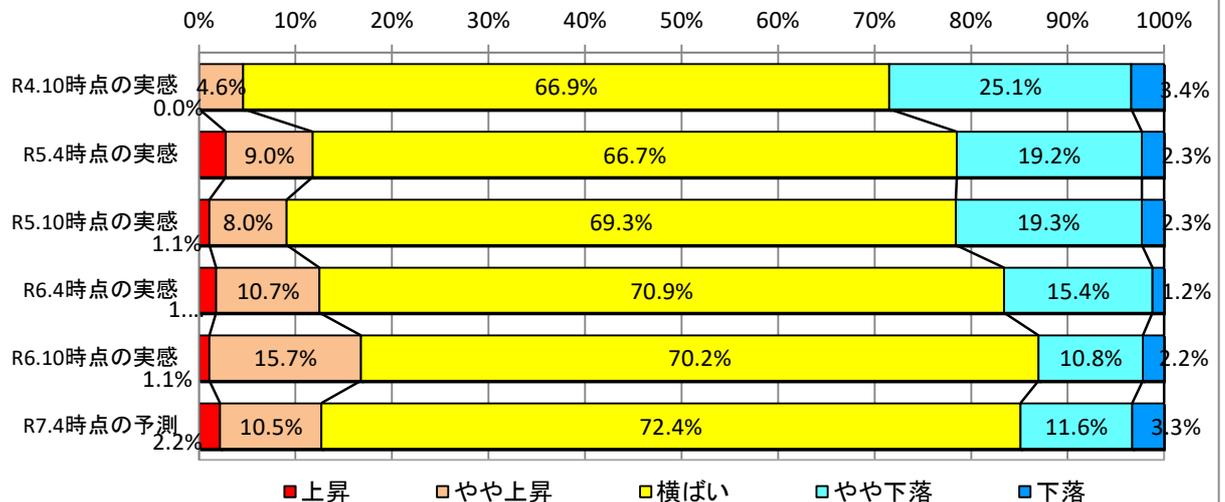
居住用物件の賃料



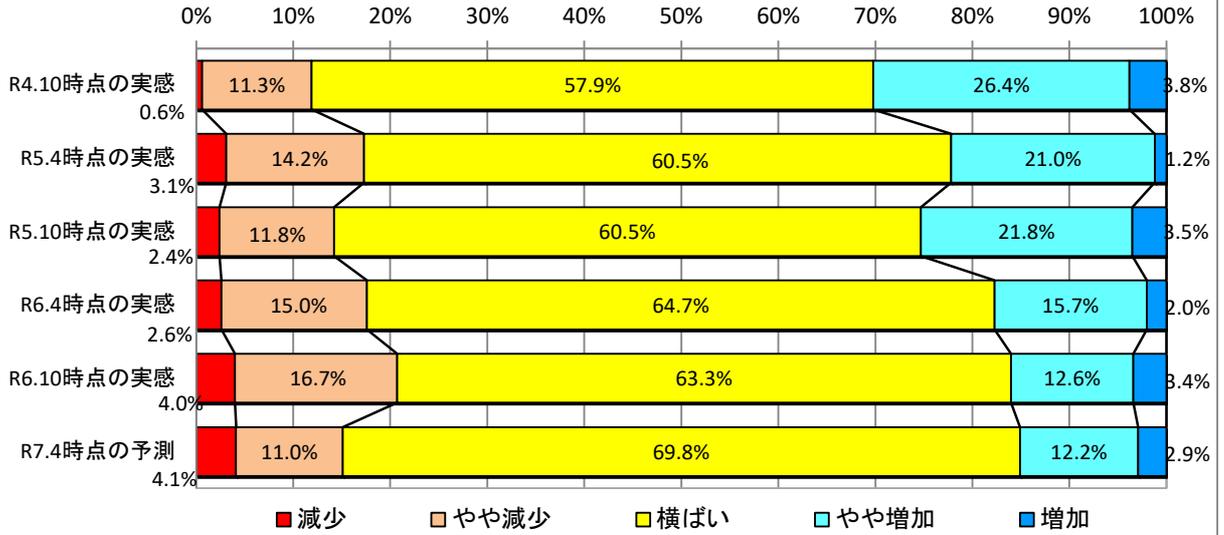
居住用物件の空室率



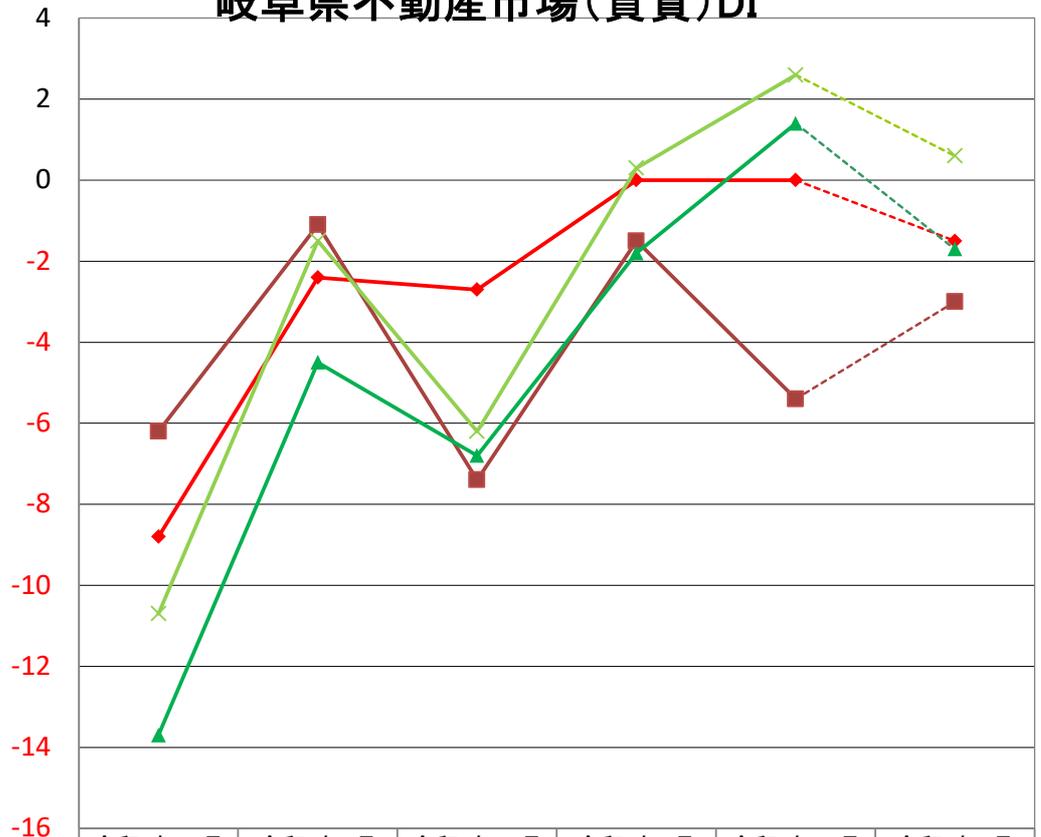
事業用物件の賃料



事業用物件の空室率



岐阜県不動産市場(賃貸)DI

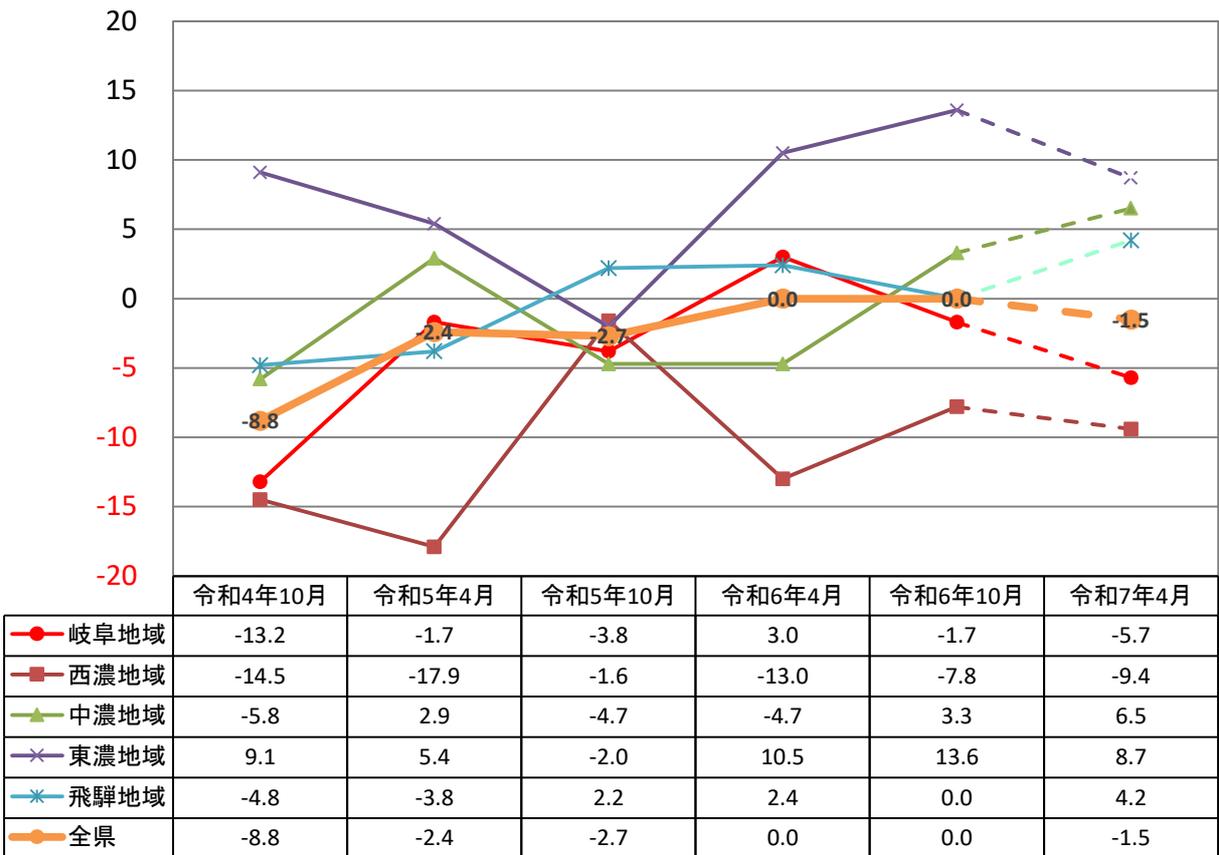


◆ 居住用物件の賃料	-8.8	-2.4	-2.7	0.0	0.0	-1.5
■ 居住用物件の空室率	-6.2	-1.1	-7.4	-1.5	-5.4	-3.0
▲ 事業用物件の賃料	-13.7	-4.5	-6.8	-1.8	1.4	-1.7
× 事業用物件の空室率	-10.7	-1.5	-6.2	0.3	2.6	0.6

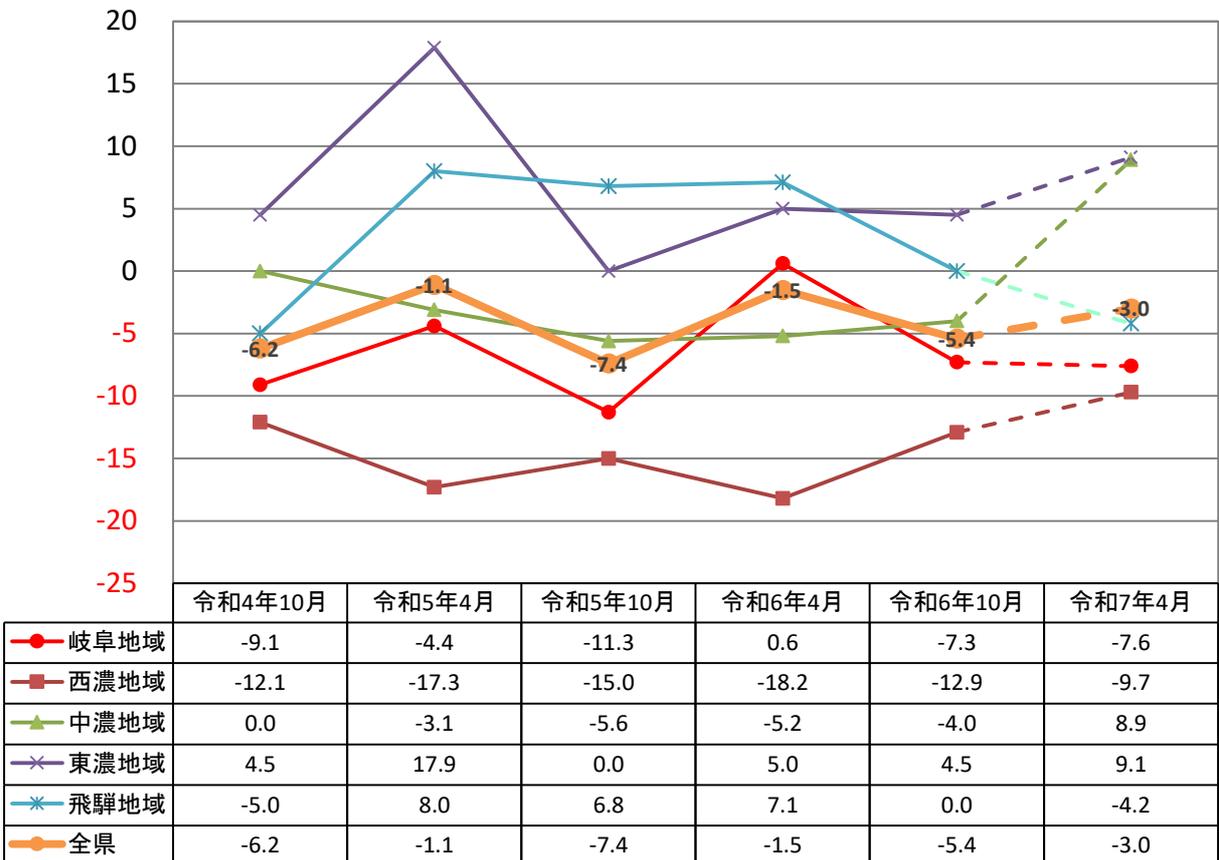
※は時点における予測値を示す（以下、同様）。

②地域毎の集計

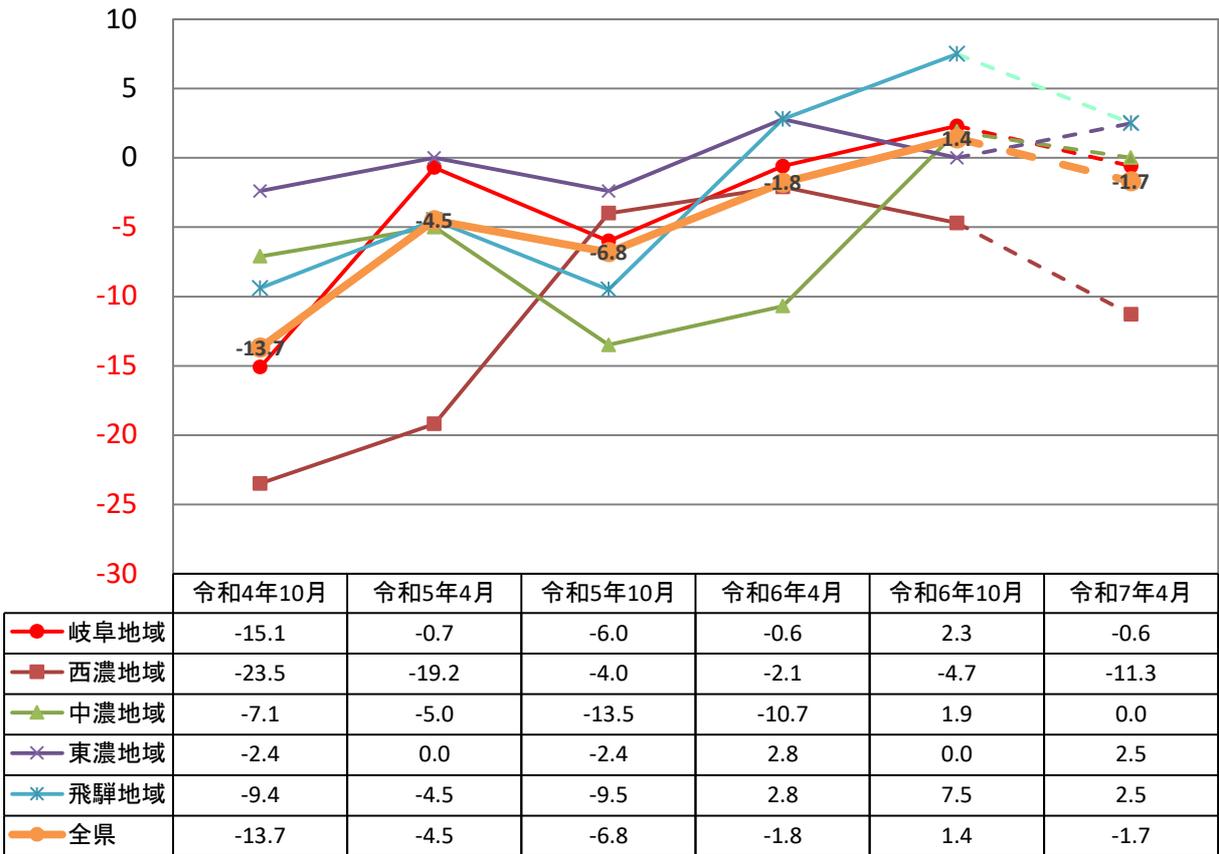
居住用物件の賃料DI



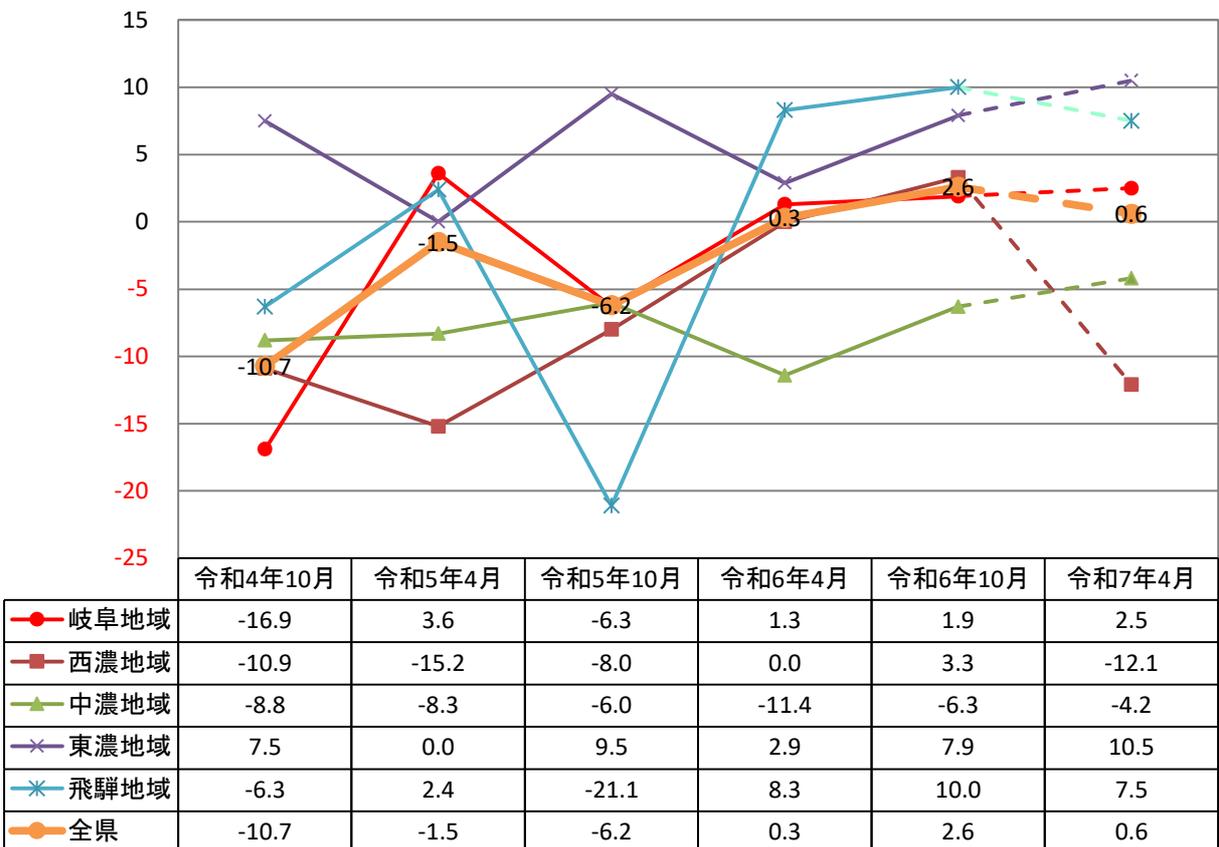
居住用物件の空室率DI



事業用物件の賃料DI



事業用物件の空室率DI



各地域ごとのコメント

岐阜 地域	事業用物件の需要が特に増加している
	建物、土地価格、人件費、建物資材、工事費等大幅UPで購入者は、新築物件に手が届かなくなりつつある。 人口減少もともなって、中古住宅(リフォーム含む)に目がうつっている。
	土地価格の上昇傾向地域もあるようですが、全体としてはもう少し活気がほしいところ です。
西濃 地域	新築戸建住宅より、中古戸建住宅のほうが動きが良い。 土地価格は良い場所と住むのに良くない場所で差が大きくなっている。
	名古屋、岐阜県とも、高級住宅地の需要は高いところも見受けられるが、低価格帯の売行きが不調である。 金利、資材高騰もあるがやはり少子化の問題もあるようです。 また、地方の営業圏については人口流出による過疎化の問題も大きいようです。
	調整区域の土地売買が進まず苦慮している。田舎の不動産売却が進まない。
中濃 地域	本年度は、前半は物価高でお客様の動きが良くなく、土地が売れませんでした が、後半は、お客様の動きがあり分譲地が売れるようになりました。物価高で建築物が非常に上がりましたがなぜか土地は安い。
	売り主さんの希望よりも安く希望される人が多く坪単価は値上げができなくて横ばい気味です。
	活発な動きは感じられない
東濃 地域	建築請負価格の高騰に伴い、宅地価格のニーズが著しく低下。 既存住宅の需要増となるも、築浅物件が少なく対応できていない状況。
	中津川市空家バンク対策で、リフォーム等の売り上げが見込まれ、新築(木造)が少ない。
飛騨 地域	建築基準法改正により、都市計画区域外の物件は売却が難しくなる。
	中古物件の売却依頼者が増加傾向で、中古物件の購入者も物価上昇で増加傾向である。空家が年々増加している。
	安価な空家を購入希望されるかたが増加しています。 7割は、県外からの問い合わせで、使用目的は民泊、ゲストハウス、貸家の不動産投資を希望されるかたが多い。

全県実感DI推移表

時点	土地 価格 全体	土地 価格 住宅地	土地 価格 商業地	土地 取引	新築 戸建 取引	中古 戸建 取引	新築 マンション 取引	中古 マンション 取引	居住用 物件 賃料	居住用 物件 空室率	事業用 物件 賃料	事業用 物件 空室率
平成22年4月	-41.2			-27.0	-37.6	-15.3	-57.1	-36.5	-42.0	-33.9	-53.5	-34.8
平成22年10月	-42.7			-30.9	-28.5	-22.0	-60.5	-40.0	-42.7	-33.5	-61.6	-46.2
平成23年4月	-32.3			-21.0	-21.9	-20.5	-52.3	-40.5	-34.9	-17.1	-47.3	-30.4
平成23年10月	-34.9			-16.3	-10.2	-13.3	-38.9	-31.1	-34.5	-29.2	-49.0	-32.4
平成24年4月	-34.6			-13.5	-31.1	-22.9	-71.1	-48.1	-32.5	-17.0	-38.5	-30.6
平成24年10月	-35.8			-16.8	-23.5	-14.8	-53.8	-32.6	-38.5	-25.9	-51.4	-38.2
平成25年4月	-9.7			10.1	-3.3	-3.1	-17.0	-16.7	-17.6	-6.9	-18.1	-6.6
平成25年10月	-13.3			-1.9	2.7	-3.0	-10.2	-11.6	-20.9	-11.1	-27.2	-21.1
平成26年4月	-14.6			-14.2	-18.0	-15.3	-26.6	-20.9	-19.6	-13.5	-21.5	-13.5
平成26年10月	-20.5			-17.7	-23.2	-16.9	-34.4	-29.6	-20.1	-19.2	22.8	-14.7
平成27年4月	-19.4			-13.5	-19.0	-14.0	-22.1	-19.4	-22.1	-15.1	-22.2	-11.2
平成27年10月	-19.2			-14.4	-22.8	-13.2	-27.9	-21.2	-20.4	-14.2	-20.9	-11.7
平成28年4月	-16.4			-7.3	-11.5	-7.5	-15.8	-12.3	-16.5	-6.2	-19.2	-9.7
平成28年10月	-20.1			-12.2	-11.8	-10.3	-22.4	-17.4	-16.4	-9.3	-20.3	-9.9
平成29年4月	-13.1	-14.1	-12.1	-4.0	-12.8	-8.9	-25.0	-19.8	-21.7	-15.4	-16.8	-10.6
平成29年10月	-13.3	-15.2	-11.2	-5.0	-12.0	-11.8	-22.8	-12.0	-15.5	-14.2	-16.2	-12.6
平成30年4月	-7.5	-11.3	-3.6	-4.6	-8.5	-12.1	-21.7	-18.3	-9.6	-9.2	-15.0	-8.7
平成30年10月	-7.8	-10.6	-4.8	-2.8	-3.3	-5.6	-16.7	-15.0	-11.8	-6.5	-13.3	-7.9
平成31年4月	-8.4	-11.3	-5.3	-3.7	-7.0	-4.8	-23.3	-18.1	-12.7	-6.3	-12.8	-6.7
令和1年10月	-10.3	-14.3	-6.0	-7.4	-9.5	-9.3	-23.6	-21.2	-11.5	-5.9	-13.5	-6.6
令和2年4月	-19.6	-22.0	-17.1	-20.3	-22.3	-22.1	-33.8	-29.0	-15.1	-9.5	-25.3	-19.1
令和2年10月	-25.1	-24.1	-26.0	-14.1	-22.5	-12.8	-29.1	-23.4	-18.1	-17.8	-29.9	-21.9
令和3年4月	-15.5	-14.3	-16.8	-6.8	-3.2	-7.2	-18.0	-16.5	-11.4	-7.7	-21.6	-19.0
令和3年10月	-10.4	-8.5	-12.4	-5.0	0.5	1.9	-12.8	-11.0	-9.1	-9.2	-18.8	-10.8
令和4年4月	-4.4	-3.5	-5.5	-4.9	-7.2	-3.2	-10.9	-8.9	-7.0	2.2	-9.2	-3.3
令和4年10月	-3.5	-4.5	-2.4	-4.9	-10.6	-2.9	-21.1	-12.1	-8.8	-6.2	-13.7	-10.7
令和5年4月	0.7	-2.0	3.7	-10.8	-19.6	-3.1	-15.7	-11.3	-2.4	-1.1	-4.5	-1.5
令和5年10月	1.1	-1.7	4.2	-9.7	-23.1	-7.1	-14.6	-17.5	-2.7	-7.4	-6.8	-6.2
令和6年4月	1.7	-2.4	6.1	-10.9	-23.6	-3.9	-24.7	-11.0	0.0	-1.5	-1.8	0.3
令和6年10月	0.6	-2.5	3.9	-11.8	-29.9	-2.9	-21.1	-13.8	0.0	-5.4	1.4	2.6